

Hota D6+ 充電器の使い方

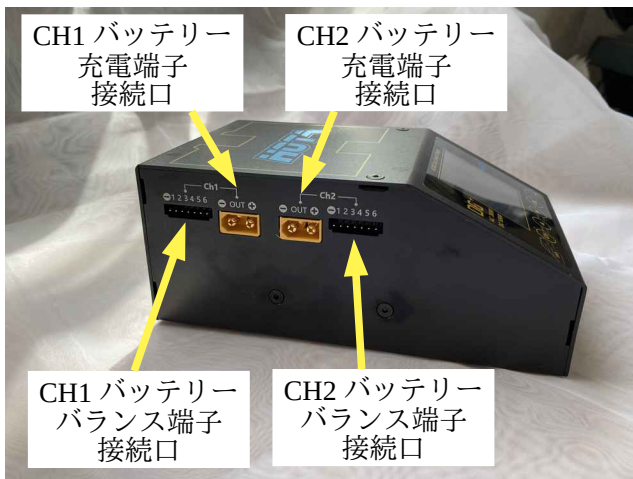
1. 各部の名称



正面図



背面図



側面図

2. 接続

バッテリーは、充電、放電、ストレージモード充電のとき、右図のようにバランス端子と充電端子を接続してください。

充電端子は、付属の変換コネクタを介して接続します。



3. 充電時の操作

3-1 フル充電



CH1 にバッテリーを接続すると、左図のような表示になります。ここで、チャンネル選択ボタンを押して、接続したバッテリーのチャンネルを選択します。この例では、CH1 に接続しているので、チャンネル選択ボタンを 1 回押して、CH1 を選択します。

このような表示に変わります。

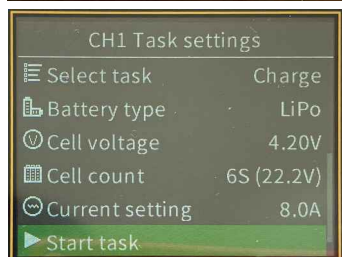


ここで、上下ボタンを押すと、バッテリー全体のパラメータ表示と各セルの電圧表示（次図）の切り替えができます。



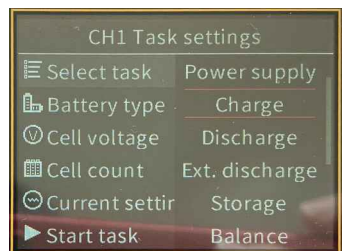
このどちらかの表示のときに、OK ボタンを押すと、次図のように、操作を選択できます。

ここでは、Charge を選択して充電します。



左図では、Start task が選択されていますが、上下ボタンを押して、Select task を選択し、さらに OK ボタンを押します。

すると、次図のようにタスクを選択できるようになるので、この中から Charge を選択して、OK ボタンを押します。



同様に、充電電流、充電電圧を設定します。

また、セル数 (Cell count) が 6S になっていることを確認します。

なっていない場合には、バッテリーの異常が考えられますので、サポートまでご連絡ください。

充電電流 (Current setting) は、充電するバッテリーに合わせて設定します。標準では、

12000mAh のバッテリーの場合には 12A

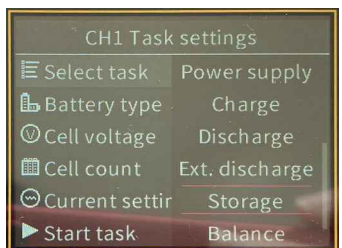
16000mAh のバッテリーの場合には 16A

を設定します。この設定で、約 1 時間で充電できます。

充電電圧 (Cell voltage) は 4.2V に設定してください。

ここまで設定できたら、Start task を選択して OK ボタンを押すと、充電が開始されます。

3-2 ストレージモード充電



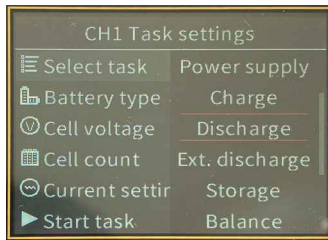
バッテリーを長期間使わないで保管するとき、ストレージモードで充電します。ストレージモードでは、容量の半分くらいまで充電し、バッテリーの劣化を防ぎます。

左図のように、Select task で Strage を選択し、充電電流はフル充電のときと同様に設定します。

充電電圧 (Cell voltage) は 3.9V に設定してください。

ここまで設定できたら、Start task を選択して OK ボタンを押すと、ストレージモード充電が開始されます。

3-3 放電



バッテリーを充電した後、使うことなく長期間保管するときは、バッテリーを保護するため、放電します。

左図のように、Select task で Discharge を選択し、充電電流はフル充電のときと同様に設定します。

充電電圧 (Cell voltage) は 3.9V に設定してください。

ここまで設定できたら、Start task を選択して OK ボタンを押すと、放電が開始されます。

メンテナンス・サポート

画像計測株式会社
塩谷 敏昭
群馬県桐生市相生町 2-947-9
TEL : 080-6585-9085
E-Mail : t-shioya@nifty.com